

提出順	15	発言順	15	令和3年8月25日
			午前・午後	9時20分受領

(2枚中No. 1)

令和3年8月25日

安曇野市議会議長 召田 義人 様

安曇野市議会議員 増田 望三郎

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和3年安曇野市議会 9月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	20分
答弁を求める者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 財政部 <input checked="" type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input checked="" type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	地域づくりにつながる空き家の利活用		

質問の要旨（具体的に記載してください）

市の空き対策は平成30年度に本格的な空き家調査を実施、令和2年度より空き家対策室が設置するなど、その取り組みが進んでいる。我々議会もこの重点事業を行政と共に取り組み、空き家の利活用を進め地域の活力を生み出していきたい。

- 1, 市の取り組みの現状と見えてきた課題
 - ① これまでの概略と今年度の取り組み
 - ② 補助金制度の活用状況からみる現状把握と課題認識は
 - ③ 空き家バンクの利便性向上と低廉な空き家の扱いは
- 2, これからの空き家対策の提案
 - ① 民間事業者との連携
 - ② 地域や区との連携
 - ③ 空き家のリノベーションで地域に活力を
 - ④ 借りたい人バンク（仮）、お帰り安曇野補助金（仮）
 - ⑤ 農地付き空き家の活用／取得下限面積を下げることについて

提出順	15	発言順	15	令和3年8月25日
				(午前)午後 9時20分受領

(2枚中No.2)

令和3年8月25日

安曇野市議会議長 召田 義人 様

安曇野市議会議員 増田 望三郎

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和3年安曇野市議会 9月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問 時間	分
答弁を求める者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他()		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 財政部 <input checked="" type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光部 <input checked="" type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他()		
質問事項	再エネの推進は必要、されど乱開発させない 太陽光発電施設導入のあり方		

質問の要旨 (具体的に記載してください)

再生エネルギー、自然エネルギーの名のもと、太陽光発電パネル設置普及が促進されている。再エネ普及は必要なことだと認識しているが、一方で森林伐採やそれによる土砂災害、景観悪化などの事例が各地で起こり問題となっている。基礎自治体において再エネの創出と開発とどのようにバランスを取っていくか、市の今後の方針を問う。

- 1, 市における太陽光発電施設の開発状況と課題・問題は
- 2, 土地利用条例、施行規則、ガイドラインの現行規程で十分なのか。
- 3, 多様性アドバイザー制度を開発との兼ね合いでどのように機能させていくのか。
- 4, 市長に最後の質問